

http://www.huffingtonpost.jp/



新たな米中関係と日本の安全保障

第4回シンポジウム 「護憲」を超えて 主催/自衛隊を活かす：21世紀の憲法と防衛を考える会

12月23日(火・祝)

開会：午後1時45分～閉会：4時45分
(開場：午後1時20分)

会場：千代田区立日比谷図書文化館 (大ホール)

参加費：1,000円 (資料代)

「自衛隊を活かす会」のシンポジウムは、国際秩序構築における自衛隊の役割を探った第3回目までを終え、いよいよ日本防衛をテーマとする段階に入っていく。

現行憲法の下で生まれた自衛隊で日本を守れるのかを議論する前提として、今回、日本周辺の政治軍事情勢をどう捉えるのか、それを変革する可能性と展望はどんなものかを議論する。

参加申し込み方法 ※事前予約制

「自衛隊を活かす会」HP (<http://kenpou-jieitai.jp>) から。マスコミの方も人数把握のため申し込みをお願いします。

取材のTVカメラを入れる場合は、参加申し込みの際にその旨を明記して下さい。



都営地下鉄 ●三田線「内幸町駅」徒歩3分 / QJR「新橋駅」徒歩10分
東京メトロ ○千代田線 ●日比谷線 ●丸ノ内線「曙ヶ岡駅」徒歩5分

「日米中関係をどう見るか——安定のカギとなるのは何か」

植木 千可子 (早稲田大学国際学術院教授。専門は国際関係論、安全保障論)

「中国は日本との関係をどうしようとしているか、日本はどう対応すべきか」

小原 凡司 (東京財団研究員。元海上自衛隊第21航空隊司令・中国防衛駐在官)

「中国・インド関係の現状から日本防衛のための教訓を汲み尽くす」

伊勢崎 賢治 (東京外国語大学教授)

「日本は韓米の見本になるよう慰安婦に謝罪し、戦略環境を変化させるべきだ」

加藤 朗 (桜美林大学教授)

司会・柳澤 協二 (元内閣官房副長官補)

「自衛隊を活かす：21世紀の憲法と防衛を考える会」とは？

2014年6月7日発足。自衛隊を否定するのではなく、国防軍や集団的自衛権に走るのではなく、現行憲法のもとで生まれた自衛隊の可能性を探り、活かすことを目的とし (設立趣意書参照)、議論の場を提供するとともに、提言活動などを行う。

◎呼びかけ人

柳澤協二 (代表) (元内閣官房副長官補、国際地政学研究所理事長)

伊勢崎賢治 (東京外国語大学教授、元国連平和維持軍武装解除部長)

加藤朗 (桜美林大学教授、同国際学研究所所長代理)